

平成 28 年度 北関東・甲信越ブロック事業報告

1. 活動テーマ

『地域における保健師の保健活動に関する指針』を活用して、保健師活動の可視化と質の向上を図る

2. 目的

地域包括ケアシステム及び災害時保健活動の構築に向けて、人材育成、ソーシャルキャピタル統括保健師の設置等、活動スキルの向上を図り、地区支部における指針の具現化を推進する。

3. 実施状況

回	開催日	場 所	内 容
1	7月9日(土) 10:00~12:30	日本公衆衛生協会	【第1回支部長会議】9名 1 理事会・拡大常任理事会報告 2 ブロック活動計画について 3 研修会、事例報告者の選任
2	9月23日(金) 17:00~18:30	高崎市総合保健センター	【第2回支部長会議】9名 1 ブロック研修会の運営準備 2 情報交換
3	9月24日(土) 10:00~15:30	高崎市総合保健センター	【ブロック研修会】参加者126名 1 会の活動方針説明 「平成28年度活動方針説明」 全国保健師長会 青柳会長 2 研究班報告 「地域包括ケアシステム構築における保健所・市町村保健師の保健活動に関する研究」 熊谷保健所 加藤静子氏 3 保健師活動実践報告 (1)「平成27年度医療介護連携実証事業(退院調整ルール策定)を実施して」 群馬県医務課 原澤和代氏 (2)「思春期からの切れ目のない支援体制をめざして～妊娠届出時のアンケート結果から～」 新潟県南魚沼市 木村直子氏 (3)「統括的立場にある保健師の役割を考える～グループスーパービジョンの実践から～」 長野県飯山市 常田徳子氏 (4)「一人暮らし高齢者の孤立防止のための地域支援体制構築に向けた取り組みー平成25・26年度縦断調査結果からみえたことー」 新潟市黒埼地域保健福祉センター 播本朋子氏

			<p>4 グループワーク（情報交換会） <テーマ例> (1)本日の調査研究報告や、活動報告を聞いた感想、今後に活かせること (2)次のキーワードを参考に意見交換 ・保健師活動指針 ・統括保健師 ・人材育成 ・災害時の保健活動 ・地区把握 ・ソーシャルキャピタル</p> <p>5 講評 全国保健師長会 青柳会長</p> <p>【支部長会議・実行委員会】</p> <p>1 ブロック研修会の振り返り 2 次年度ブロック研修会に向けた検討 3 次年度新任理事の選任</p>
--	--	--	--

4. 結果・課題

ブロック研修会は県外 36 名、県内 90 名、計 126 名が参加。会員外参加も 26 名であった。活動方針説明、研究報告はメール等を経由するのではなく、直接話を聞くことで理解を深めることができたという意見が聞かれた。GWは情報交換の場として今年度も好評だった。この研修会に参加することで会の活動への理解を深め、刺激を受けることができたという意見も聞かれた。今後はより多くの保健師が参加し、保健師を取り巻く最新の情報を得ると共に、広く他所属の保健師と交流が図れ、モチベーションやスキルの向上の機会となる必要があると思う。

5. 支部活動の特徴

各支部から提出された 10 例の活動事例を「保健師活動実践報告事例集」にまとめ、ブロック研修会で配布すると共に 4 事例の発表を行なった。研修会終了後のアンケートでは、次年度も事例集の作成継続を希望する意見が多かった。

6. 委員・支部長

○理事	吉野	くみこ	群馬県吾妻保健福祉事務所保健課
理事	北野	和子	長野県佐久保健福祉事務所健康づくり支援課
茨城県	下条	陽子	土浦保健所保健指導課
栃木県	樋山	光子	矢板健康福祉センター保健衛生課
群馬県	齊籐	綾子	渋川市地域包括支援センター
新潟県	権平	範子	新発田地域振興局健康福祉環境部地域保健課
新潟市	上田	文子	新潟市中央区南地域保健福祉センター
山形県	飯窪	千恵	県立北病院社会生活支援部
長野県	小岩	和枝	佐久保健福祉事務所健康づくり支援課